

太宰府市市制施行40周年記念

だざいふ

景観・市民遺産

フェスタ 2023



新しい市民遺産が、
生まれるかも！

?

第17号

《おもな内容》

- だざいふ景観賞表彰式
- 太宰府市民遺産こども絵画コンテスト表彰式
- 新しい市民遺産の提案と認定採決



令和5年 2月4日(土) 13:30~16:30 太宰府天満宮 余香殿

●主催：太宰府市景観・市民遺産会議 ●共催：太宰府市・太宰府市教育委員会

◇もくじ◇

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
 太宰府市民遺産とは・・・・・・・・・・・・p2
 こども絵画コンテスト表彰作品・・・・p3・4
 太宰府市民遺産候補「竹の曲」・・・・p5
 太宰府市民遺産トピックス・・・・・・p6

ご来場のみなさまへお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、会場内ではマスクの着用、咳・くしゃみエチケットの徹底をお願いいたします。

だざいふ景観・市民遺産フェスタ2023

令和5（2023）年2月4日（土） 於 太宰府天満宮余香殿

プログラム

1、開会あいさつ

2、来賓紹介・来賓あいさつ

3、第7回だざいふ景観賞表彰式

受賞内容は、別紙のパンフレットをご覧ください。

4、太宰府市民遺産こども絵画コンテスト表彰式（p3-4）

< 休 憩 >

5、新しい太宰府市民遺産の提案（p5）

市民遺産候補：「竹の曲」

提案団体：福岡県指定無形民俗文化財「竹の曲」保存会

6、市民遺産育成団体活動報告（p6）

○第16号「宝満山のヒキガエル」

育成団体：宝満山ヒキガエルを守る会

○第13号「太宰府をうたう♪全11曲（作曲・唄 岩崎記代子）」

育成団体：岩崎記代子と「赤い鳥」と「夢みらい」

7、太宰府市民遺産認定書授与式

※本日提案される太宰府市民遺産候補が認定となった場合のみ
おこないます。

8、閉会あいさつ

◇アンケートご協力をお願い◇

お帰りの際に、別紙のアンケートにご記入いただき受付の
回収箱にお入れください。よろしく願いいたします。

太宰府市民遺産とは...



太宰府市民遺産ロゴ・マーク

市民遺産とは、市民ひとりひとりが「いいな」「大事だな」「未来に伝えたい」と思う太宰府の物語と、その物語のもととなる文化遺産、そして、それらを守り伝える活動との3つを合わせたものをいいます。守り伝える活動を行っている市民が育成団体として自ら提案し、太宰府市景観・市民遺産会議が「太宰府市民遺産」として認定をおこなっています。

令和5年1月末までで、16件が認定されています。



◀ 認定されている太宰府市民遺産は
こちらで紹介しています。
(太宰府市民遺産ポータルサイト)



▲ 太宰府市民遺産とは
(動画で紹介しています)

太宰府市景観・市民遺産会議について



▲ 太宰府市民遺産を認定する第1回目の会議のよう(平成23年1月30日)

太宰府市が平成22(2010)年10月1日に制定・施行した「太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例」をもとに、太宰府市の良好な景観の形成および市民遺産の育成の推進のために同年12月に立ち上げられました。市民・行政・事業者の協働で組織しています。

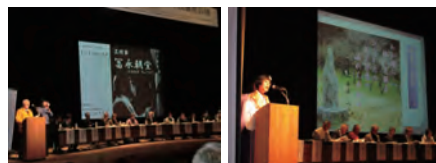
現在の会議の委員は、景観・市民遺産育成団体、市(教育部・都市整備部)、太宰府市自治協議会、太宰府天満宮、太宰府観光協会、太宰府市商工会、有識者等で構成されています。

現在の委員の任期は今年3月まで(任期3年度間)で、令和5年4月からはこれまでと委員構成を変え、新たに地元大学関係者等が加わる予定です。

活動のあゆみ



発足時の会議(平成22年12月28日)
▲ 会議の会則や作業指針などが決められました。



市民遺産の提案風景



ロゴ・マーク

▲ 太宰府市民遺産のロゴ・マークは、平成23年に一般公募に全国から応募をいただき、市民投票の結果をもとに決定されました。



子ども絵画コンテスト

▲ 令和元年度より、次世代に向けた取り組みとして子ども絵画コンテストを始めました。



市内施設での展示活動



市民祭りでのステージ出演



10周年記念式典(令和3年2月20日)



太宰府市民遺産こども絵画コンテスト表彰作品

市内在住または在学の小学4～6年生を対象に、太宰府市民遺産を題材とした絵画作品を募集しました。今年度は、298点もの応募をいただき、会議委員・関係者によって入選・入賞作品を選定しました。作品の選定にあたっては、福岡県立太宰府高等学校芸術科主幹・まつもとりょういち松本了一先生にご協力いただきました。



▲作品選考会のようす

入賞作品



最優秀賞

命をかけて頂上をめざすヒキガエル

竹ノ矢 あみ安美さん（太宰府東小6年）

カエルたちが道なき道を一生懸命に進む様子が貼り絵で表現されています。今回の作品の中で唯一絵の具ではなく、ちぎった色紙を丁寧に貼り絵にした作品で審査員の注目を集めました。小さなヒキガエルと転がった大きなどんぐりとの対比や自然な色味の表現などしっかりと構成が練られており、作者の狙いが伝わる作品です。

特別賞



景観・市民遺産会議議長賞
四王寺山の三十三石仏

三浦 さくらさん（水城西小6年）

優しい顔をした小さな石仏が柔らかな光に包み込まれています。自然の中にたたく石仏を見つめる作者の想いが伝わってくるようです。水彩絵具の透明感を活かし、紙の白さで光を表現している技法も目を引きました。左下にはそなえられた黄色い花が画面のアクセントになっており、静かな祈りの情景が浮かんできます。



太宰府市長賞

人の思いがつぐ梅上げ行事

岡元 よんこ聡子さん（水城西小6年）

還暦を迎える人々が、厄払いとして太宰府天満宮に梅の木を奉納する伝統的な行事である梅上げを題材にした作品です。画面中央には除災招福の願いをこめた梅の木をのせた牛車が大きく描かれています。味わいを感じさせる線の描写や、牛や人の素朴な表情がとてもよく、題名に込められていますが、この行事によって代々受け継がれている人々の思いを感じさせています。

応募作品への総評

(福岡県立太宰府高等学校 芸術科主任 松本 了一先生)

太宰府市民遺産こども絵画コンテストは本年度で4回目を迎えました。初年度の出品はわずか十数点でしたが、本年度も太宰府市内の小学生から300点近い応募があり、絵画コンテストとしての認知度が向上していることをとてもうれしく思います。

これまでの出品作品の傾向は、市民遺産等のホームページの画像を参考にしている写真の影響が大きいものが多くありました。

しかし、今回は異なる場面を組み合わせたり、描画材料に工夫がみられたりと題材に合わせて絵の表現方法を練っている作品が多くなった印象がありました。

次年度以降も自分らしさや、個性が輝く出品作品が増えていくことを期待します。



優秀賞



1



2



3



4



5



6



太宰府市教育長賞
木うそに願いを込めて
江上 周真さん(水城西小6年)

存在感たっぷりの木彫りの木うそを中心に、背後には太宰府政庁跡の晴れ晴れとした風景が広がっています。木うそだけが描かれるのではなく、太宰府らしい風景の中に木うそが構成されているところにオリジナリティを感じます。また、水彩画の技法を活かし、生き生きとした点描で表現した風景が素晴らしく、両端に置いた石碑は画面に安定感を生んでいます。



7



8

1. 木うそと梅
横山 心春さん(水城西小6年)
2. 八朔の千燈明
竹下 葉奈さん(水城西小6年)
3. 太宰府天満宮の御牛牛
篠崎 理音さん(水城西小4年)
4. メモリアルパークから見えるながめ
中村 奏来さん(水城西小4年)
5. 未来に残る太宰府の遺跡
新田 あかりさん(太宰府西小5年)
6. 青空での梅あげ行事
今林 愛梨さん(太宰府西小5年)
7. 未来へつなげる隈麿公のお墓
天野 芽彩さん(水城西小6年)
8. 梅と四王寺山と2匹の木うそ
大本 あいさん(水城西小6年)

新しい太宰府市民遺産の提案

本日、新たな太宰府市民遺産の候補が育成団体から提案され、この場で景観・市民遺産会議の委員によって「認定」か「見送り」かの採決がおこなわれます。

提案される太宰府市民遺産候補

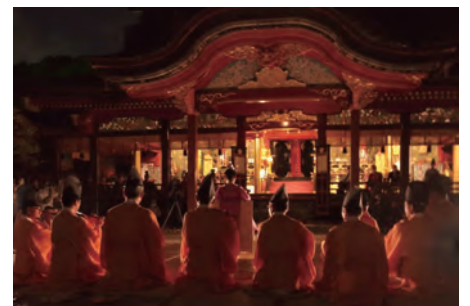
「竹の曲」(たけのはやし)

物語

民俗芸能「竹の曲」は、平安時代に始まった太宰府天満宮の御神幸祭に田楽の一座が奉仕したのが始まりとされ、中世の田楽に起源をもつものです。現在は、ささら、締太鼓、横笛の三種の楽器を使用し、「道楽」、「お御供あげ」、「ささらの舞」、「扇の舞」という奏楽・謡・舞を行います。この「竹の曲」を伝承しているのは、五条（現在の太宰府市五条周辺）で市場を運営していた「六座」と呼ばれた人々で、今もその子孫たちが代々、中世以来の長い歴史を受け継いでいます。



▲お下り・お上りの道中、「道楽」を奏して奉仕する



▲お上りの最後に本殿前で奉納される「ささらの舞」と「扇の舞」

主な文化遺産

- 能面（六座面）
- 締太鼓
- ささら
- 衣装一式（大人用・稚児用）
- 奏曲「道楽」
- 奏曲「お御供あげ」
- 奏曲「ささらの舞」
- 謡曲「扇の舞」



▲締太鼓



▲ささら

育成活動

後継者育成の取り組みをかねて、太宰府天満宮御神幸式と秋思祭に合わせて、練習を行っています。

普及活動として、これからもさまざまな機会をとらえて「竹の曲」を上演し、中世からの長い歴史をもつこの大切な「竹の曲」をより多くの人に知っていただき、応援していただける方々と共に次の世代へ残していきたいと思ひます。

提案する育成団体

育成団体：福岡県指定無形民俗文化財「竹の曲」保存会

中世に五条で市を運営した商工業者の集団「六座」（米屋・金屋・小間物屋・阿い物屋・紺屋・鍛冶屋の頭で構成）の子孫とその関係者を中心に組織されています。民俗芸能「竹の曲」を伝え、太宰府天満宮神幸式大祭、秋思祭での奉納のほか、市民祭りや各種の芸能大会などにも出演しています。



▲練習風景

太宰府市民遺産トピックス

「宝満山のヒキガエル」がNHK番組「ダーウィンが来た！」で特集されました！！

番組では、「大迫跡！謎の登山ガエル」と題して、ヒキガエルの子ガエルたちが1か月あまりをかけて山を登って行くようすが全国のお茶の間へ届けられました。



番組の制作会社による取材撮影風景

取材はおよそ2年がかりでおこなわれました。放送後は、日本各地から宝満山のヒキガエルについての問い合わせがありました。

「太宰府における時の記念日の行事」が、3年ぶりに通常スタイルで開催されました！



校歌を合唱する水城小学校の児童たち



地図を使って歌われた「水城村の地勢」



辰山会の川回会長（右）と高瀬さん（左）

行事には、水城小の児童も参加して校歌を合唱してくれました。2020年で「時の記念日」が制定されて100年だったのを記念して、参加者には特製の木札がプレゼントされました。

「太宰府の梅上げ行事」を育成する太宰府梅ばやし隊が創立10周年を記念して博多座の舞台に立ちました！



幕が上がる前のステージ上でのスナップ

令和4年12月6日、博多座「市民の檜舞台の月」の催しで太宰府梅ばやし隊の総勢58名が8分余りのステージ出演を果たしました。

現在、太宰府市いきいき情報センター2階市民ギャラリーにて「梅上げの写真展」開催中！【2月14日（火）まで】

コロナ禍等により行事が中止となった市民遺産

- ・「梅香苑夏まつり子どもみこし」
- ・「八朔の千燈明」

「太宰府をうたう♪全11曲」を育成する岩崎記代子さんが、令和3年度日本童謡協会奨励賞を受賞しました。



表彰状と岩崎さん

賞への選考にあたっては、太宰府での市民遺産の取り組みが高く評価されたとの事です。

「四王寺山の太宰府町道」と「四王寺山の三十三石仏」を育成する四王寺山勉強会の育成活動を記録した映像作品「四王寺山の市民遺産を守る人々」が福岡映像コンテストで特選の「西日本新聞社賞」を受賞しました！

受賞作品映像はこちらでご覧いただけます。

↓(Youtube)↓



受賞した末永さん（右）と四王寺山勉強会の葉畑会長（左）

「太宰府の木うそ」が、雑誌『旅の手帖』2月号で紹介されています！



特集「しぶ〜い魅力だけじゃない ゆるくてかわいいユニーク郷土玩具」として「太宰府の木うそ」と太宰府木うそ保存会の活動が紹介されています。

「太宰府木うそ作品展」開催中！
2月4日（土）～2月28日（火）まで
太宰府館2階ギャラリーにて

各市民遺産の育成団体の活動は、太宰府市民遺産ポータルサイトにて情報発信しています。

この他、各団体のHPやSNSもご覧ください。



太宰府市民遺産の提案は 随時、募集しています

お気軽に、事務局までご相談ください



太宰府市景観・市民遺産会議

事務局：太宰府市教育委員会文化財課

〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目1番1号

電話 092-921-2121（内線 477）

FAX 092-921-3667



太宰府市民遺産ポータルサイト
[https:// 市民遺産 . jp/](https://市民遺産.jp/)